

塗る・切る・磨くで世界を変える

**mipox**

**2022年3月期 通期決算説明会資料**

Mipox株式会社(マイボックス) 証券コード 5381

01 業績概要	-----	2022年3月期 通期
02 業績見通し	-----	2023年3月期 通期
03 取り組み	-----	2023年3月期 通期
04 Appendix	-----	会社概要・業績ハイライト

# 01 業績概要

## 2022年3月期 通期

## ■ 2022年3月期 通期 業績サマリー

製品事業・受託事業共に売上好調により、2005年3月期以来の最高売上

売上高

**10,449** (百万円)

前期比較

**3,088** (百万円) 増

営業利益

**1,467** (百万円)

前期比較

**1,108** (百万円) 増

## 【売上要因】

製品事業・受託事業共に売上が好調に推移し、前年を大きく上回りました。

リモートワークやWeb会議等の普及によりデータ需要の高まりに伴い、製品事業のハイテク関連を中心に売上が増加。

受託事業は次世代ディスプレイ用部材の生産が本格稼働したことが主要因で売上増加。

経常利益

**1,613** (百万円)

前期比較

**1,312** (百万円) 増

純利益\*

\*親会社株主に帰属

**1,550** (百万円)

前期比較

**1,463** (百万円) 増

2022年5月13日付「営業外収益及び特別損失並びに繰延税金資産の計上に関するお知らせ」の通り下記項目を計上いたしました。

## 営業外収益の計上

当社は、為替相場の変動により、当社グループが保有する外貨建債権債務の決済および期末為替レートによる評価替えにより207百万円の為替差益を営業外収益に計上いたしました。

## 特別損失の計上について

2022年3月22日付「連結子会社の解散及び清算、事業所の閉鎖に関するお知らせ」の通り、連結子会社であるMipox (Thailand) Co., Ltd.を解散し清算することを決議したことに伴い、将来負担することとなる清算損失の発生見込額として、関係会社整理損失引当金繰入額71百万円及び減損損失82百万円を特別損失に計上いたしました。

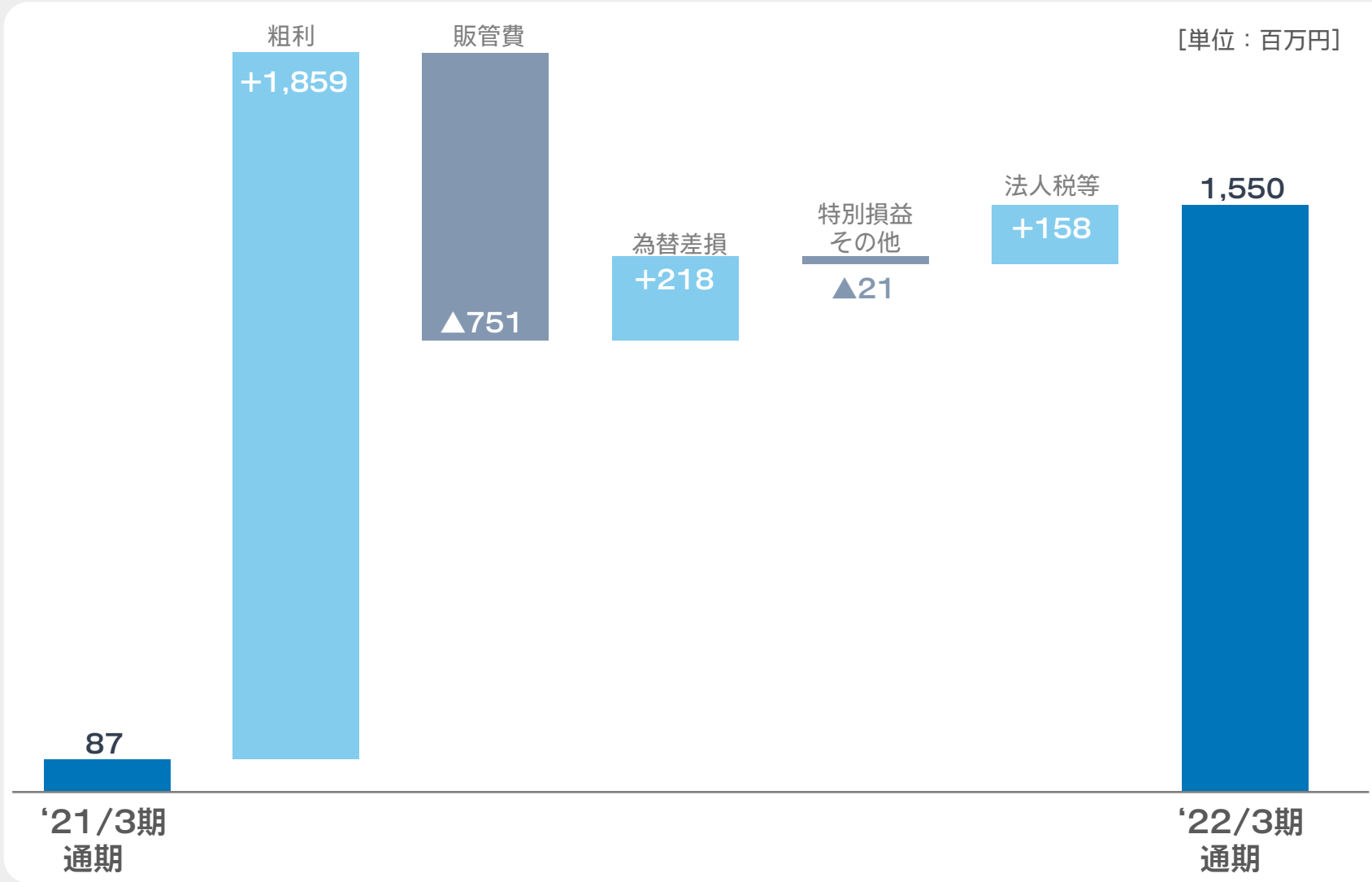
## 繰延税金資産の計上について

2022年3月期及び今後の業績動向等を踏まえ、「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」に基づき、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、法人税等調整額△436百万円（△は利益）を計上いたしました。

01-3 利益増減要因 (対前期比較)

※ 親会社に帰属する当期純利益

利益率の高い製品の売上構成が高まったことにより増益



2021年3月期 通期

純利益

87 (百万円)

+1,463 (百万円)

2022年3月期 通期

純利益

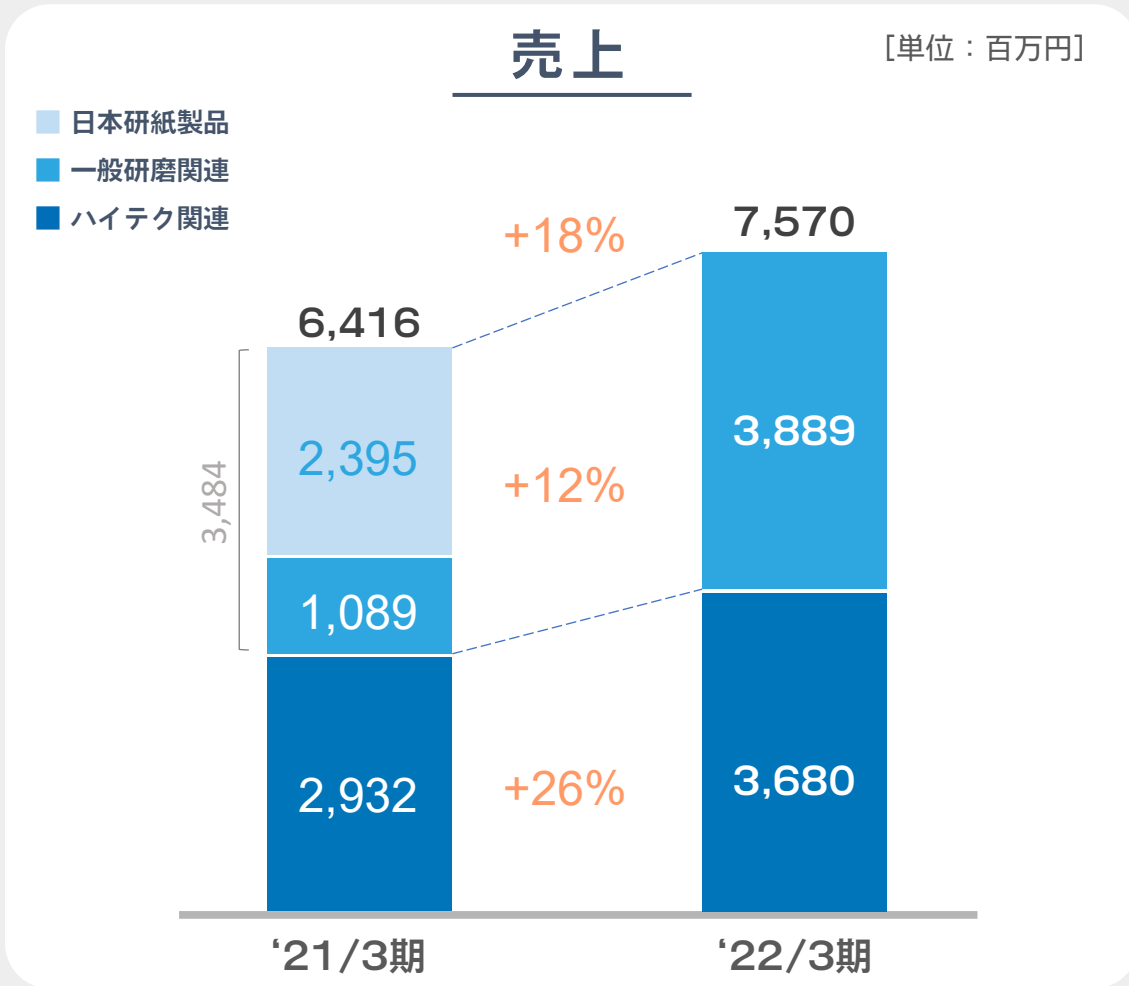
1,550 (百万円)

【利益要因】

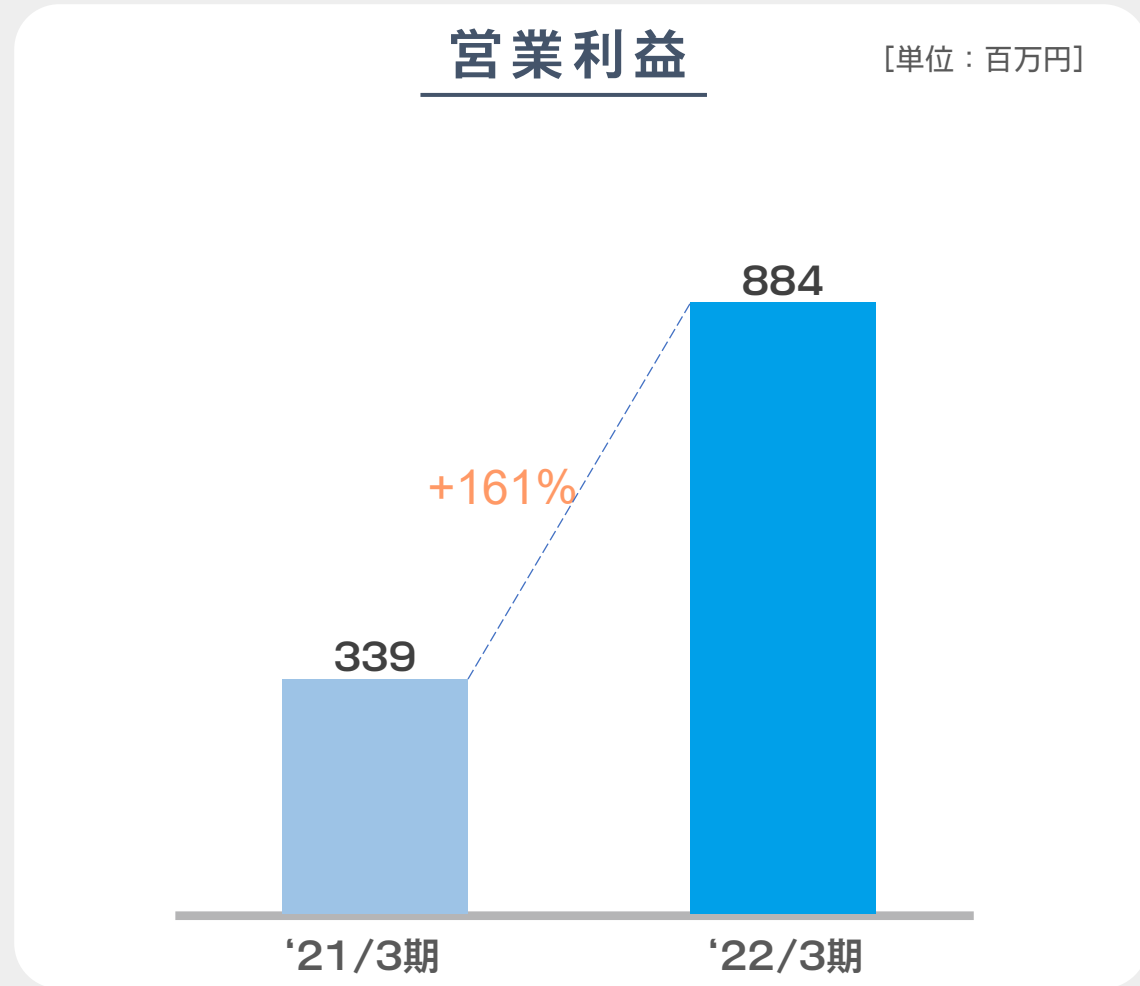
利益率の高い製品の売上構成が高まり、半導体関連の受託研磨サービスを中心に売上の増加により増益。

# ハイテク市場での好調が売上をけん引し増収増益

※日本研紙製品→子会社合併により一般研磨関連



前期比較



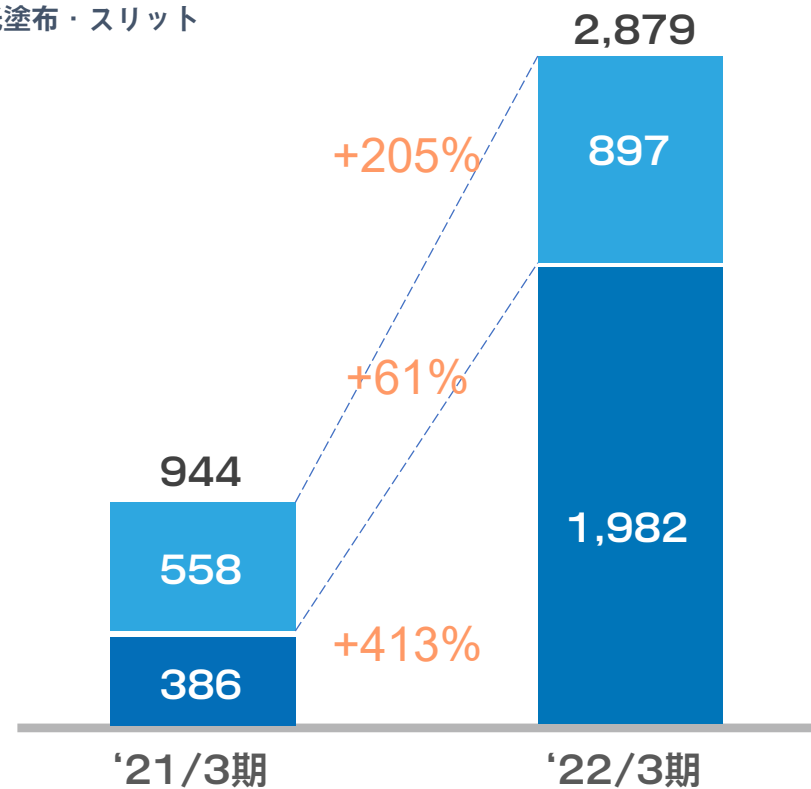
前期比較

## 受託研磨加工、受託塗布・スリットともに売上が好調により増収増益

### 売上

[単位：百万円]

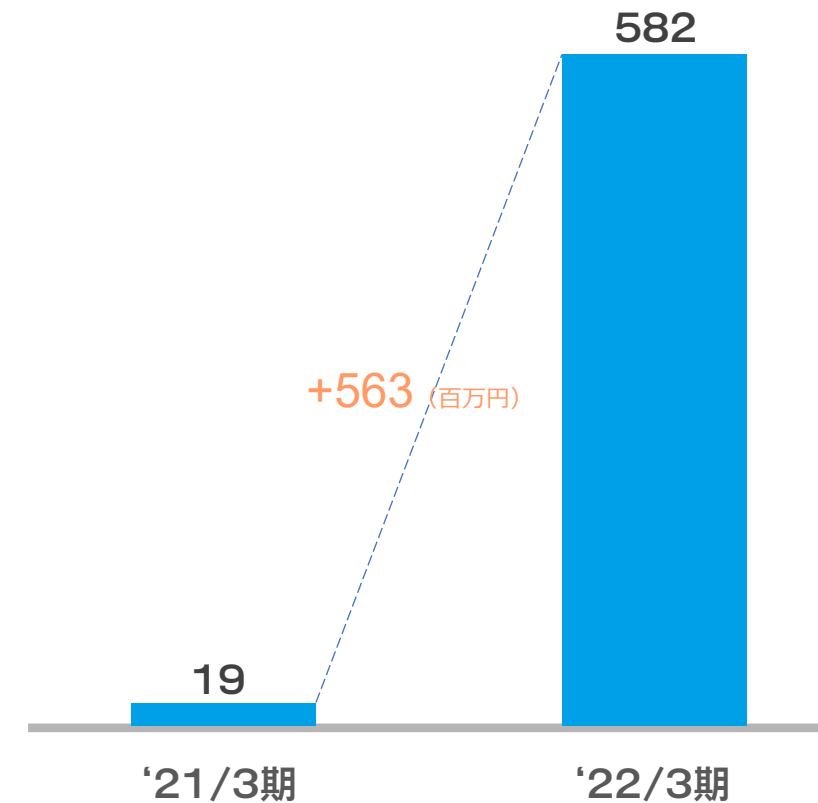
- 受託研磨加工
- 受託塗布・スリット



前期比較

### 営業利益

[単位：百万円]



前期比較



## 貸借対照表推移

2022年3月期通期

	2021年3月末	2022年3月末	増減	主な理由
流動資産	7,802	10,611	2,809	第2回新株予約権による増資完了
現金及び預金	3,020	2,394	▲626	資金使途変更（長崎工場→鹿沼工場取得）
前払い金	0	2,755	2,755	2022年4月1日鹿沼工場取得準備金
固定資産	3,498	3,994	496	
有形固定資産	3,172	3,350	177	
資産合計	11,300	14,606	3,305	
流動負債	3,329	4,002	673	
短期借入金（社債含む）	1,684	15,05	▲179	
固定負債	3,598	2,512	▲1,085	
長期借入金（社債含む）	3,031	2,215	▲816	
負債合計	6,928	6,515	▲412	
純資産合計	4,372	8,091	3,718	第2回新株予約権による増資完了
負債純資産合計	11,300	14,606	3,305	
借入金合計	4,716	3,720	▲995	

※増減算出後百万未満切捨て

## 総資産

**14,606**  
(百万円)

## 純資産

**8,091**  
(百万円)

## 自己資本比率

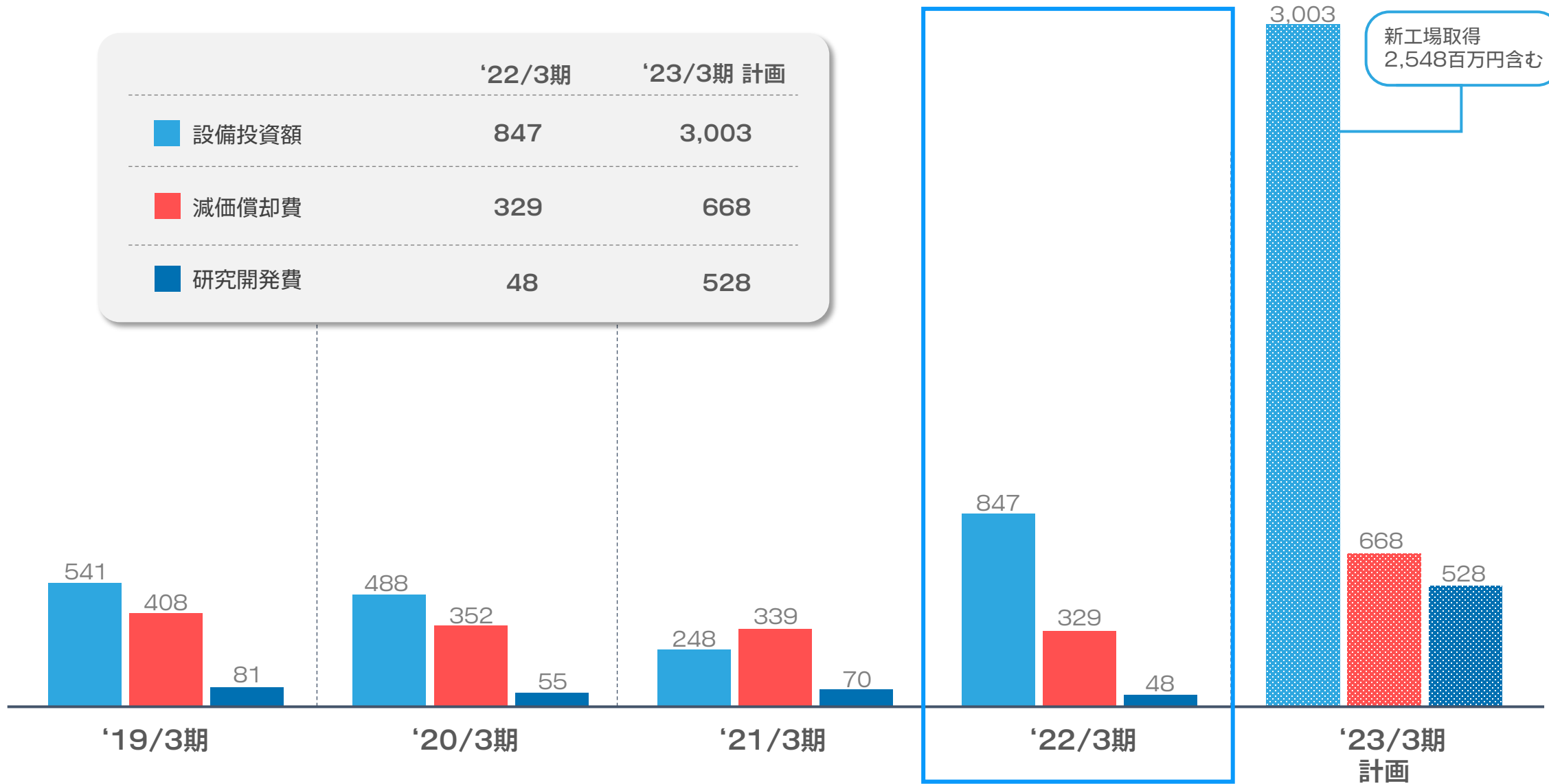
**55.4%**

第三者割当による行使価額修正条項付第2回新株予約権（行使指定・停止指定条項付）

2021年11月12日 新株予約権の発行を決議    2021年11月18日 新株予約権発行条件決定    2021年12月03日 新株予約権の割当及び払込  
2021年12月07日 新株予約権の行使開始    2022年03月02日 新株予約権（23700個）行使完了

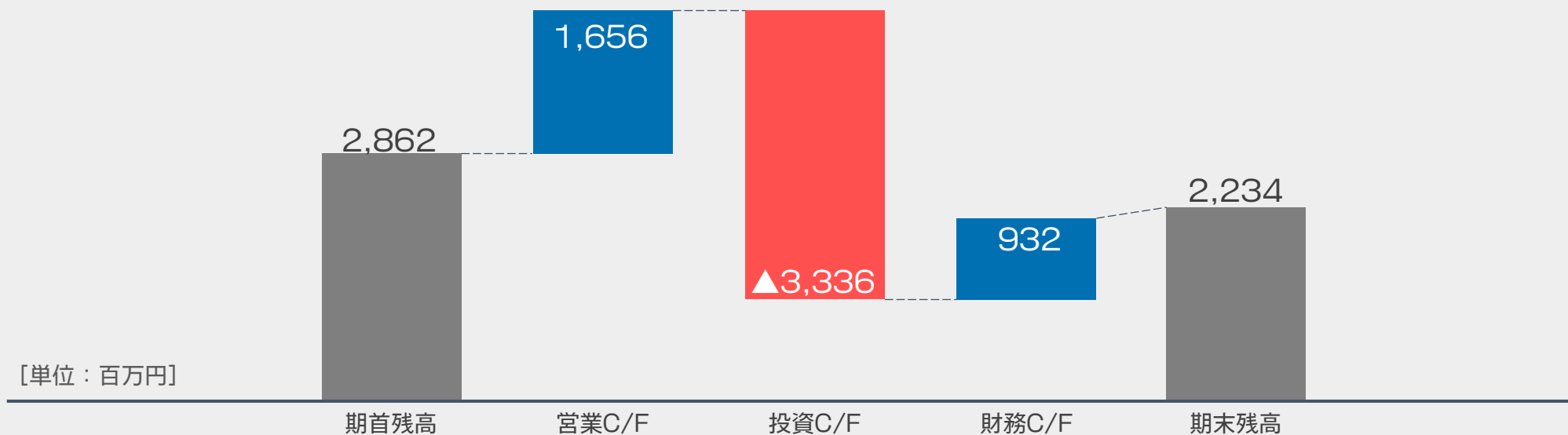
[単位：百万円]

	'22/3期	'23/3期 計画
■ 設備投資額	847	3,003
■ 減価償却費	329	668
■ 研究開発費	48	528



新工場取得  
2,548百万円含む

[単位：百万円]	'21/3期	'22/3期	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲114	1,656	税金等調整前当期純利益 1,419 減価償却費 329 売上債権の増加による減少 158 棚卸資産の増加による減少 325
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲225	▲3,336	有形固定資産の取得による支出 3,301
財務活動によるキャッシュ・フロー	575	932	長期借入金の返済による支出 1,158 株式の発行による収入 2,014
現金及び現金同等部の期末残高	2,862	2,234	



## 02 業績見通し

### 2023年3月期 通期

## 2023年3月期 通期 売上見通しについては横ばいで推移する見通し

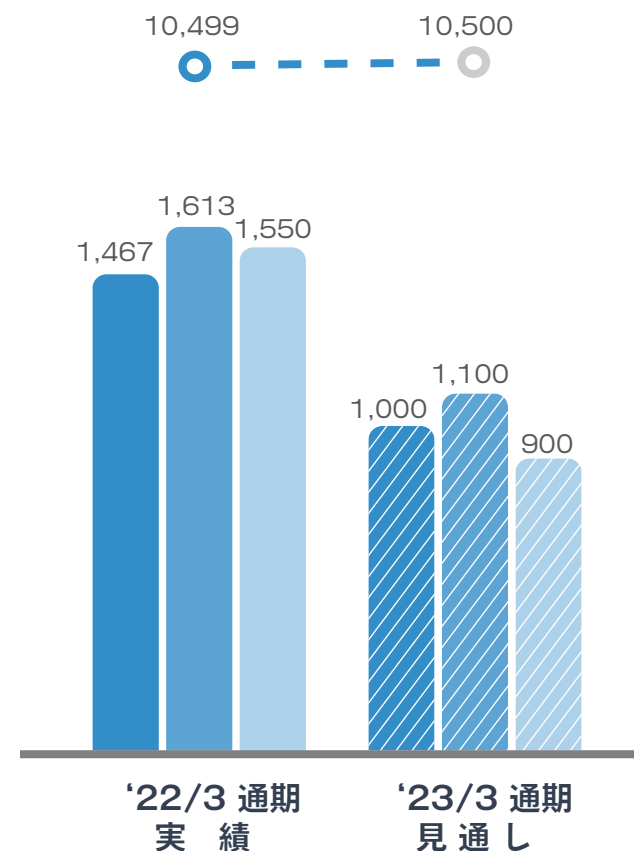
[単位：百万円]	'22/3 通期 実績	'23/3 通期 見通し	増減額	増減率
売上高	10,449	10,500	51	0.5%
営業利益	1,467	1,000	▲467	▲31.8%
経常利益	1,613	1,100	▲513	▲31.8%
純利益*	1,550	900	▲650	▲41.9%

\*親会社株主に帰属

当数字は5/13時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

予測為替レート：111円

○売上高 ■営業利益 ■経常利益 ■純利益  
[単位：百万円]



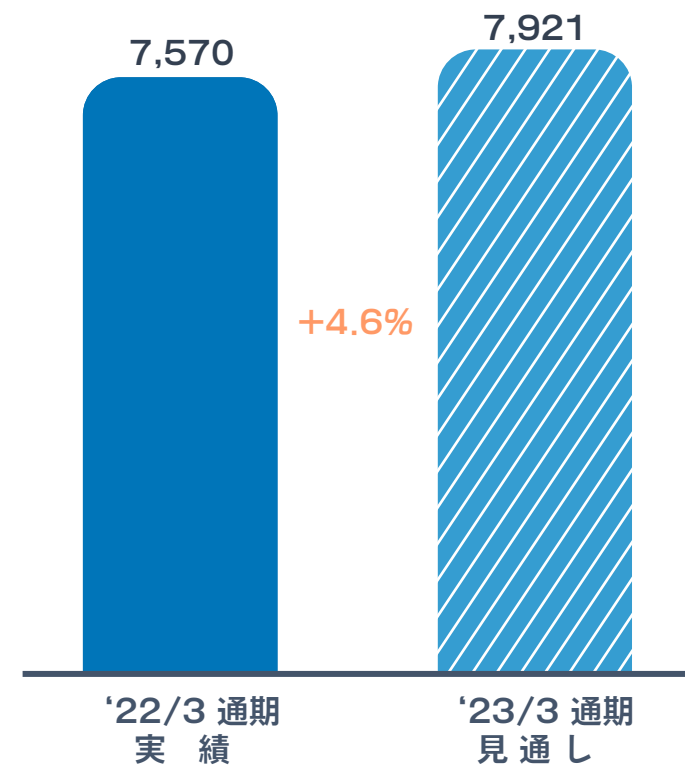
## 製品事業の売上は半導体不足の影響が不透明なもの、堅調に推移する見通し

### 製品事業

一般研磨関連/ハイテク関連

- 旺盛な半導体需要に加え、データセンター及び高速通信向けが好調に推移する見通し。
- 自動車分野は半導体不足の影響により回復は緩やかな見通し。
- 生産リードタイムの短縮、適正在庫の見直しにより即納体制を構築しサービス向上による売上増加を見込む。
- 組織改編に伴い事業部内に開発部門を設けることにより、新製品開発の活性化と販売まで一貫した組織運営に基づき売上増加を目指す。

[単位：百万円]



※増減算出後百万未満切捨て

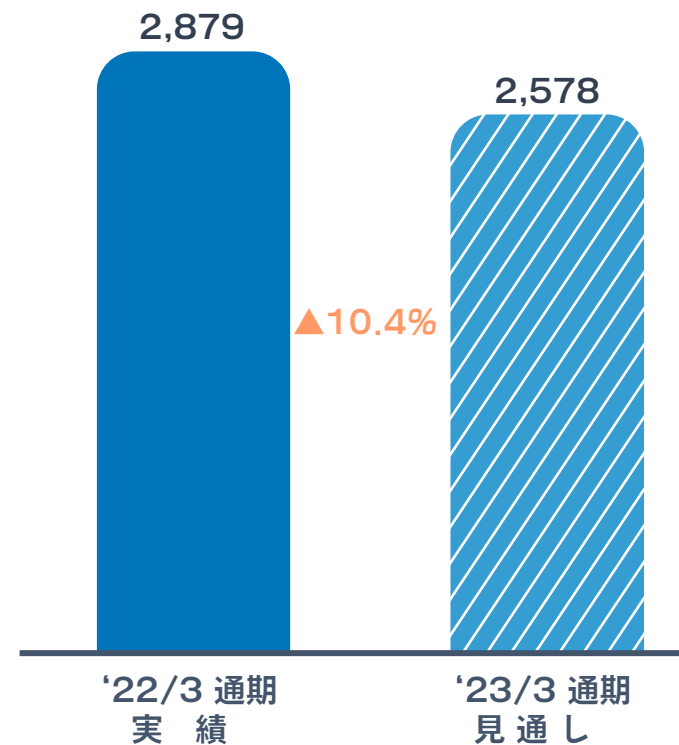
## 一部減少する見通しではあるものの、受託事業全体では堅調に推移する見通し

### 受託事業

受託研磨/受託塗布・スリット

- 受託塗布・スリットは引き続き堅調に推移する見通し。
- 受託研磨関連は次世代半導体関連の国内外からの需要の高まりを受け、新規案件の引き合いも堅調に増加する見通し。
- 一部大口受注が終了したため、受託研磨全体としては売上が減少する見通し。
- 受託研磨の新サービスでの実績化を進めて受注の増加を見込む。

[単位：百万円]



※増減算出後百万未満切捨て

	年間配当
2022年3月期	15円
2023年3月期	10円(予想)

長期安定的な企業価値向上によって、株主への安定的な配当を継続的に行うことを経営の最重要課題とし、連結業績及び配当性向等を総合的に勘案して、適正な利益還元を行うことを基本方針としております。



## 免責事項及び将来の見通しに関する注意事項

当社および当社グループの各部門に関する業界の動向についての見直しを含む、国内および諸外国の経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした予測を前提としており、実際の業績等はこの資料に記載されている将来の見通しとは大きく異なる可能性があることをご留意ください

# 03 取り組み

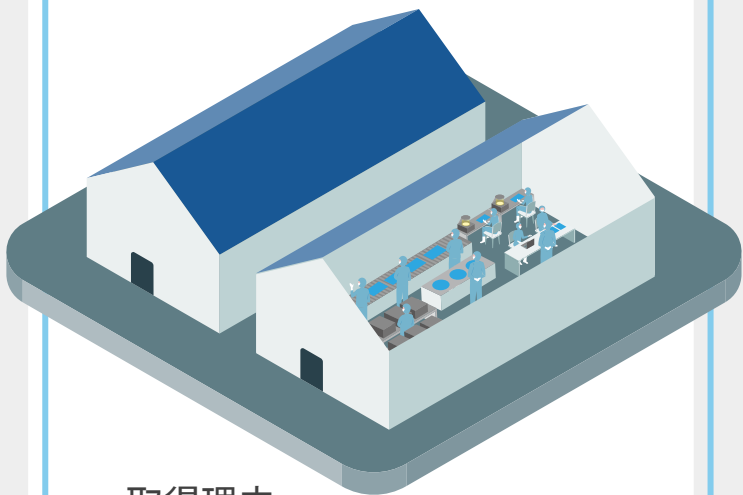
## 2023年3月期 通期

## 新工場始動と今後の取り組み

鹿沼事業所

敷地面積：約 60,000㎡

延床面積：約 46,000㎡



取得理由

受託事業の生産能力の拡大

事業成長のための場所確保

BCPの観点から生産体制の  
リスクの分散

### 本格稼働へ向けた取り組み

受託事業を中心に、設備・機械・人を導入及び増強



### 鹿沼事業所での今後の計画

受託事業の生産能力拡大

スペースの制約上取り組むことが難しかった工程の導入

京都工場からの生産移管



### 鹿沼事業所稼働に伴うグループ全体の動き

グループ内での複雑化の解消、国内での一貫生産体制へ

グループ生産体制の再編

mipox

## 新工場稼働に向けて、全拠点を含めたスマートファクトリー化の加速

人・もの・情報すべてとつながる工場、スマートファクトリー化の強化に向けて、引き続きデジタルデータ活用により業務プロセスの改革、品質・生産性の向上を継続発展的に実現する工場へ向けた取組強化

とまらない工場



見える工場



つながる工場




### 製造・開発・生産部門等からのDX人材の育成


#### メリット

- 現場視点でのプロセスに対応
- 会社独自のプロセスに統一
- 導入から運用までのステップが短い
- 利用者目線のシステム作りが可能


#### 品質保証部門

【検査工程の自動化】  
属人化していた工程を自動化することによって、工程数の削減

#### 生産管理部門

【製造指図書デジタル化】  
自社開発アプリによるERPへの自動取り込みと連携によるさらなる効率化

#### 製造部門

【検知の自動化】  
不良品検知の自動化による省力化

製造原価  
2.5%  
削減



# デジタル社会へ向けた「課題」 解決へ高まる様々なニーズ

## デジタル社会

デジタル化が進み、データセンターの需要はさらに増加  
データセンター消費電力が膨大に膨らんでいるであり、カーボンニュートラル社会に向け省電力化によるグリーン化が急がれる

## 省エネ社会

将来のカーボンニュートラルの実現に向けた世界的な動きが加速し  
電気自動車、再生エネルギー、データセンター向けの次世代パワー半導体需要の拡大

半導体の高機能化と低消費電力化が求められている



次世代半導体の「課題」解決に対するニーズにMipoxのコア技術を組み合わせた「創造」×「エンジニアリング」で応えてまいります。

受託請負ではなく、課題と一緒に取り組むエンジニアリングパートナーとしてMipoxにしか出来ない付加価値を提供してまいります。

製品事業・受託事業の両事業のノウハウ・設備・人材の共有により製品能力・開発力を向上させることで両事業で最先端のニーズに対応してまいります。

塗る  
Coating

切る  
Slitting

磨く  
Polishing

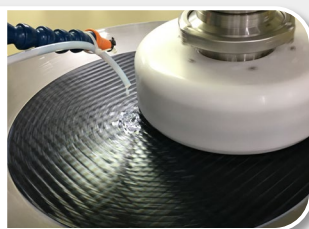
観る  
Observation

## Mipoxのコア技術である「磨く」を軸に

- 急速に高まる半導体関連の需要に応えるため、受託研磨用途・装置・研磨材開発共に、大幅な生産能力強化
- 新工場取得により、クリーンルームの増床対応を行い、平面研磨加工（CMP）・エッジ研磨加工、及び常温接合受託サービスに加え、ウェーハ精密洗浄サービスの対応を開始
- 国策である「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」に基づく NEDO「グリーンイノベーション基金」に弊社が採択されたことを受け、次世代化合物半導体ウェーハ創出のプロジェクトを始動

### 研磨加工（CMP）技術

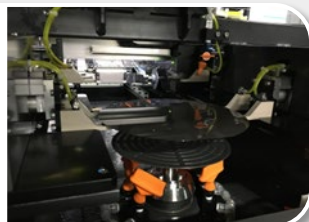
あらゆる材料を高精度  
平坦化



### 研磨加工（CMP）・洗浄・常温接合 ワンストップソリューションの展開



### 次世代半導体ウェーハ向け 専用研磨装置の開発



### 次世代ハイブリッドウェーハ 「Engineered Substrate」 の創出



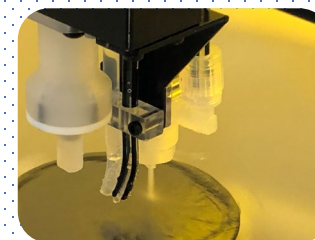
### NEDO GI基金に基づく 次世代化合物半導体ウェーハの 開発



### 新サービス

## ウェーハ精密 洗浄処理サービス

素材に合わせた洗剤と洗浄方法を選定し、  
平面研磨加工時に付着した研磨材などの  
付着物を除去します。



グリーンイノベーション基金事業/次世代デジタルインフラの構築  
次世代パワー半導体に用いるウェーハ技術開発

# 超高品質・8インチ・低コストSiCウェーハ開発

「グリーンイノベーション基金」は、2020年12月25日に経済産業省が関係各省庁と策定した「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」の中で「経済と環境の好循環」を作り出すためにNEDOに創設された基金。  
<https://green-innovation.nedo.go.jp>

## コンソーシアム

幹事会社



名古屋大学



産総研

株式会社オキサイドを幹事会社として、Mipox株式会社、株式会社UJ-Crystal、国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学、アイクリスタル株式会社、国立研究開発法人産業技術総合研究所の6者共同で受託。

## 事業規模等

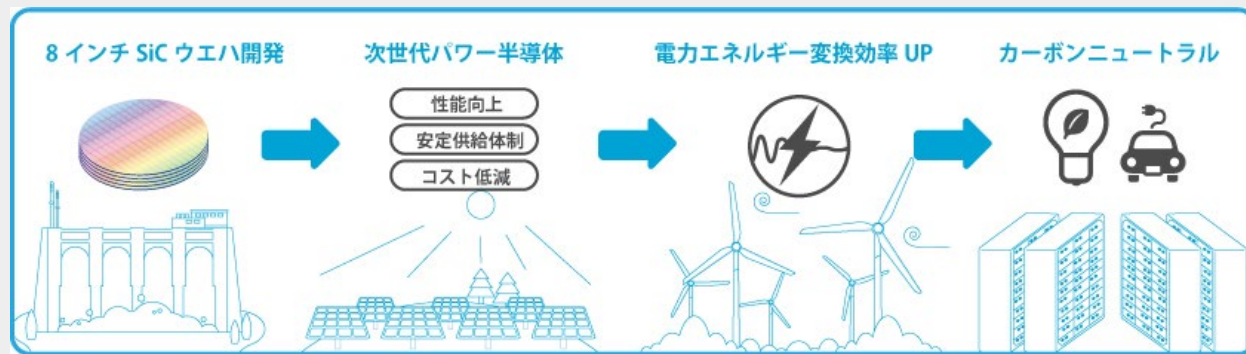
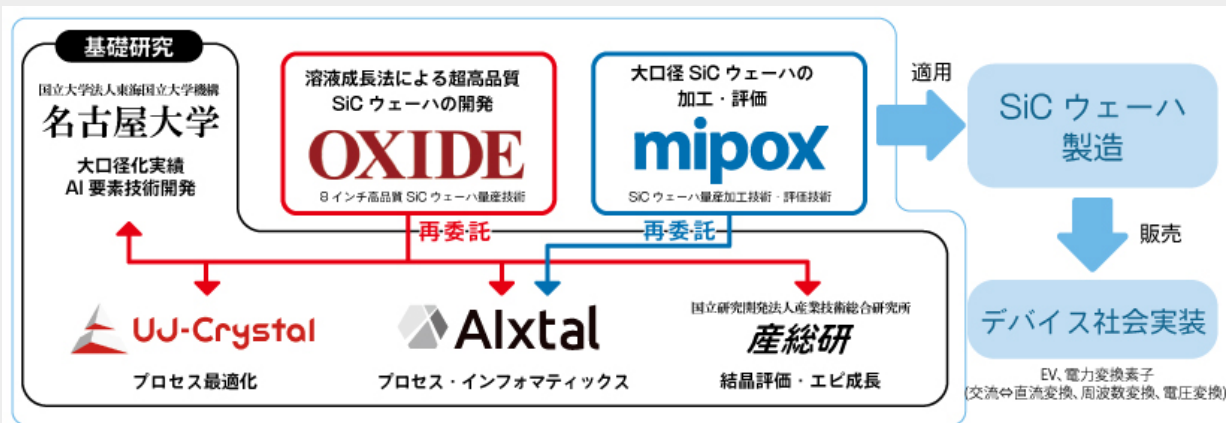
事業規模：約258億円

支援規模※：約186億円

※インセンティブ額を含む。今後ステージゲートなどで事業進捗などに応じて変更の可能性あり。

補助率など：9/10委託→2/3補助→1/2補助（インセンティブ率は10%）

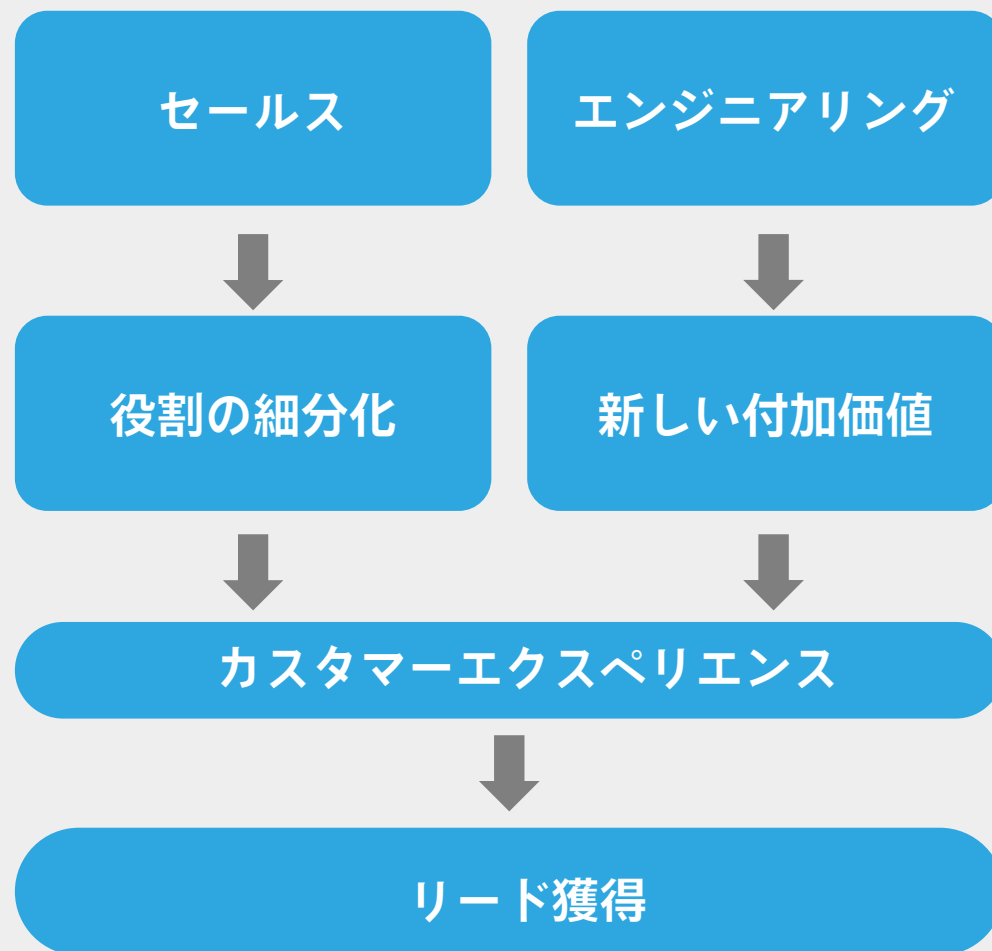
## 2030年までに超高品質・8インチ・低コストSiCウェーハの開発・販売を目指す



## カスタマーエクスペリエンス（CX）を軸とした多様化するニーズへの対応

### 製品・サービス提供能力の強化

- カスタマーエクスペリエンス（CX）の実現に向け  
**セールス部門の細分化**
  - ➡ インサイド・フィールド・カスタマーサクセスの強化
  - ➡ ニーズに合わせた製品・サービスの提案
- 生産リードタイムの短縮、適正在庫の見直しにより  
**即納体制を構築**
- エンジニアリング（技術の開発と改善）
  - ➡ 製品・サービスの性能の向上
  - ➡ 新製品の開発・販売





## 04 Appendix

### 会社概要・業績ハイライト

会社名	Mipox(マイポックス)株式会社
英文名	Mipox Corporation
創業	大正14年(1925)年11月21日
設立	昭和16年(1941)年12月12日
代表取締役社長	渡邊 淳 (Jun Watanabe)
本店	〒409-1501 山梨県北杜市大泉町西井出8566 (山梨工場)
本社	〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-11-3 Dタワー西新宿16階
株式市場名	東京証券取引所 スタンダード
証券コード	5381



## Mipox(マイポックス)の名前の由来

ミクロの研磨を表す「Micro Polish」・鏡面の威力を表す「Mirror Power」双方の頭文字と、無限の可能性を秘めた「X」を添えて「Mipox」となったのが由来です。

ミクロの研磨  
**MICRO POLISH**

鏡面の威力  
**MIRROR POWER**

無限の可能性を秘めた  
**X**

1925

独逸顔料合名会社



1981

日本マイクロコーティング (株)

製品ブランド「MIPOX」 **MIPOX**



今日、4月1日より社名変更 旧社名 独逸顔料工業株式会社  
 古い塗料に特殊コーティング技術も展開する  
**日本マイクロコーティング株式会社**  
 品質・価格両面での競争に力を入れております  
 併せてご対応しますので、今後とも変わらぬご支援ご愛顧を  
 賜りますようお願い申し上げます。  
 取締役 藤原 誠  
**日本マイクロコーティング株式会社**  
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
 TEL 03-5561-1111 FAX 03-5561-1112

2013

Mipox株式会社

**mipox**

## 『塗る・切る・磨くで世界を変える』

我々は1925年の創業以来、メーカーとして培ってきた当社のコア技術である

「塗る・切る・磨く」と共に発展してまいりました。

この「塗る・切る・磨く」を通して、世界の変化を支えることが我々が果たすべき役割であり存在意義であります。

## 経営方針

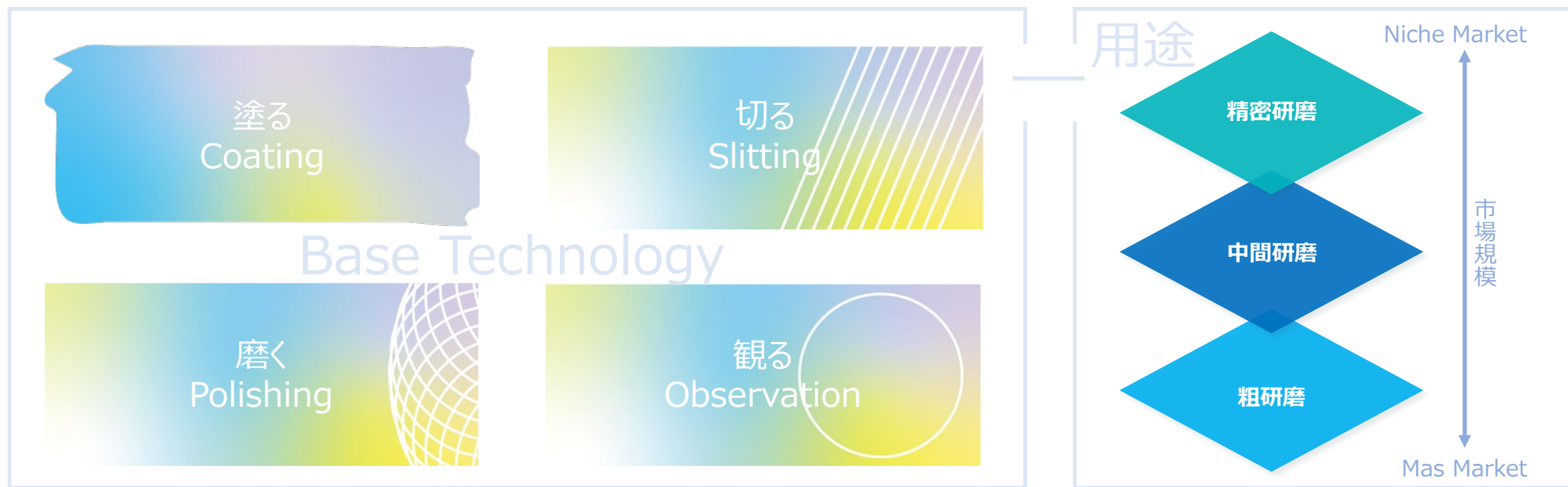
エンジニアリングアプローチによる製品事業の付加価値向上

受託事業からエンジニアリングサービス事業への転換

早い変化と多様性に対応できる経営基盤の整備

## 「塗る、切る、磨く、観る」を極めた技術力

創業から続く箔の製造技術を応用することで「塗る」「切る」「磨く」技術をコアにした事業を展開した企業であり、最近では、当社の研磨品質が”市場に検査できる装置がない”というレベルにまで達し、検査装置の拡充も後押しし、現在は「観る」技術もコア技術に加えた「塗る、切る、磨く、観る」をコア技術としています。



Mipoxでは、自社製品の製造のみならず、受託事業も手がけております。  
研磨業界において、世界シェアを誇る分野をもつニッチトップコンバーターです。

## 製品事業

一般研磨関連  
ハイテク関連

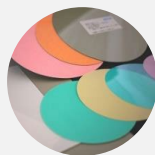
研磨材を開発・製造して、販売をしています。  
超精密研磨から一般研磨、装置や反射材など、世界中の幅広い用途で当社製品を提供しています。



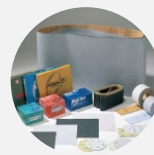
研磨フィルム



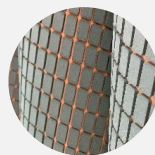
液体研磨剤



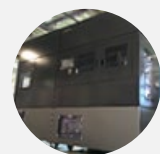
研磨関連製品



研磨布紙製品



研磨砥石製品



研磨周辺機器



検査装置



研磨ロボット



再帰性反射材  
(Ref Lite)



ヤスリ製品

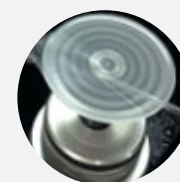
## 受託事業

受託研磨加工  
受託塗布・スリット

受託研磨は、主に半導体用途を中心に、ウェーハをはじめとする材料をお客様よりお預かりし、弊社が保有する設備（研磨装置、洗浄機、検査装置）と弊社独自の研磨材を用いて、お客様の要望に沿った研磨加工を提供。受託コーティング・スリットは、お客様の基材（フィルム等）や塗料材をお預かりし、弊社が保有する設備（調合、コーティング、スリット）を用いてフィルム化。



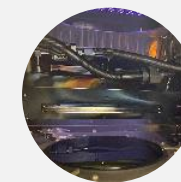
塗布製品



研磨加工



スリット加工

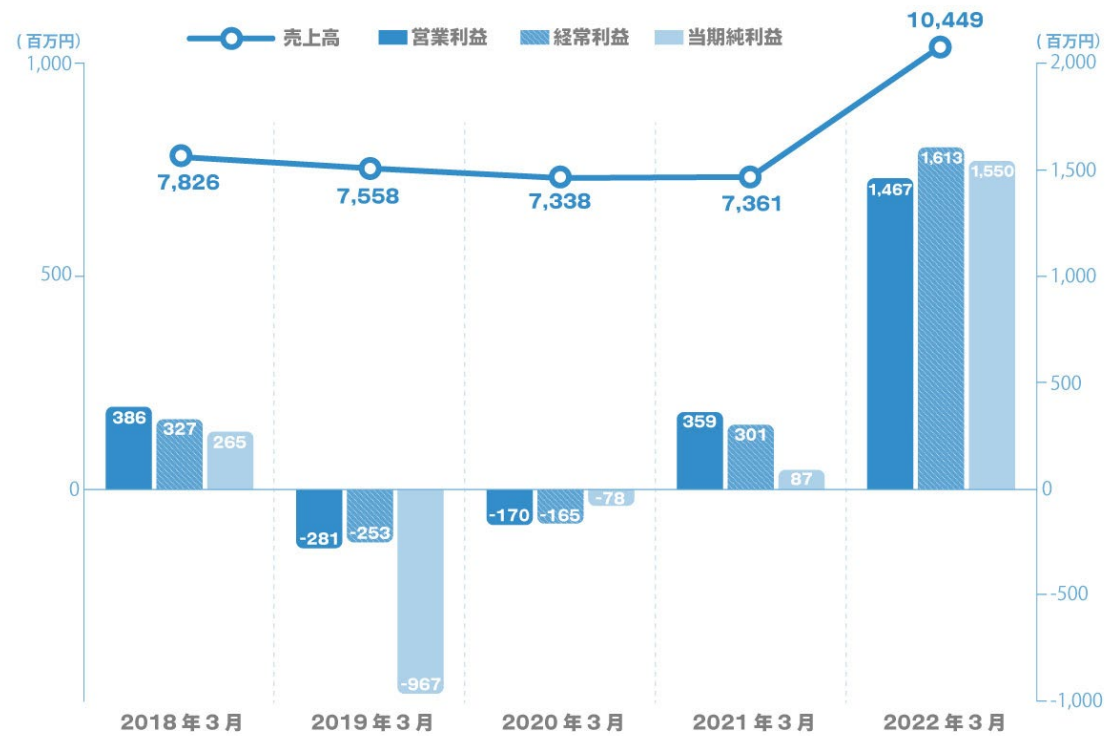


常温接合加工

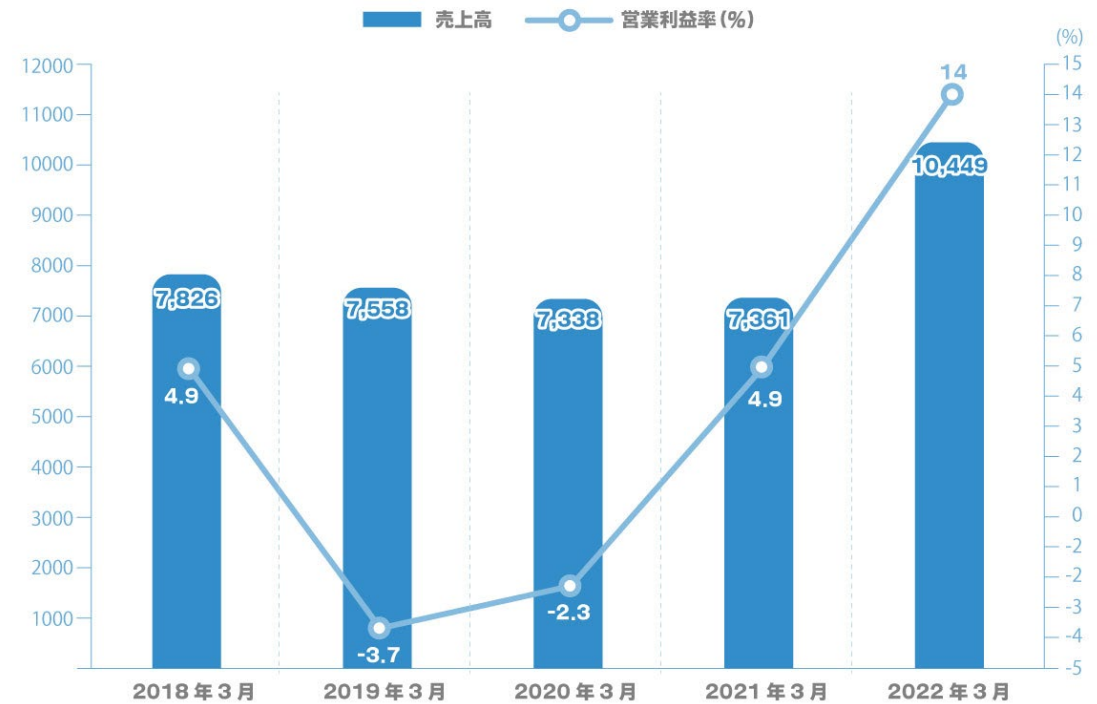


検査

## 連結損益計算書

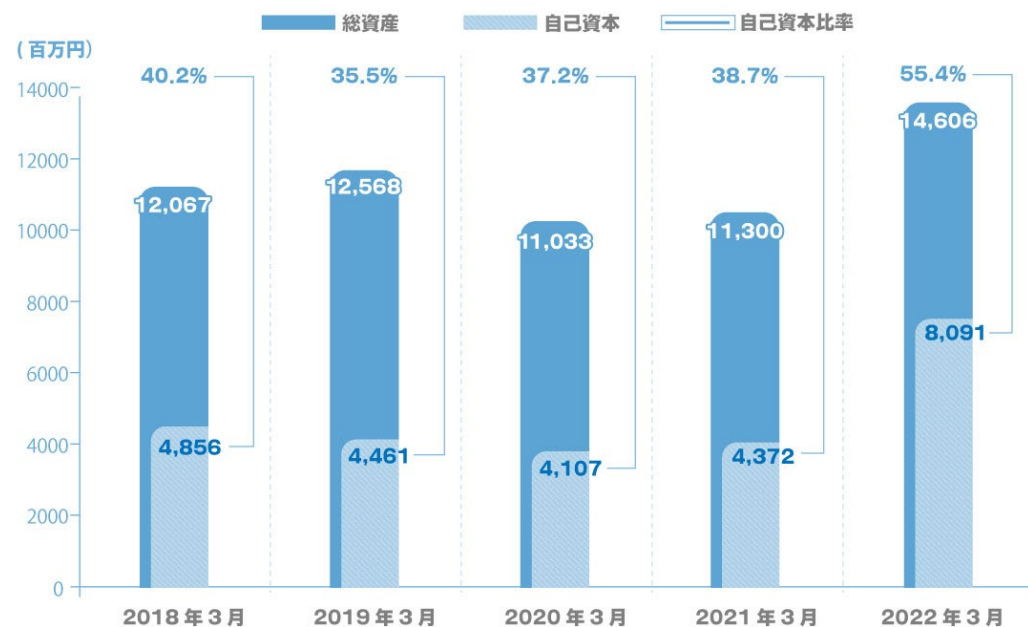


	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月
売上高	7,826	7,558	7,338	7,361	10,449
営業利益	386	-281	-170	359	1,467
経常利益	327	-253	-165	301	1,613
当期純利益	265	-967	-78	87	1,550

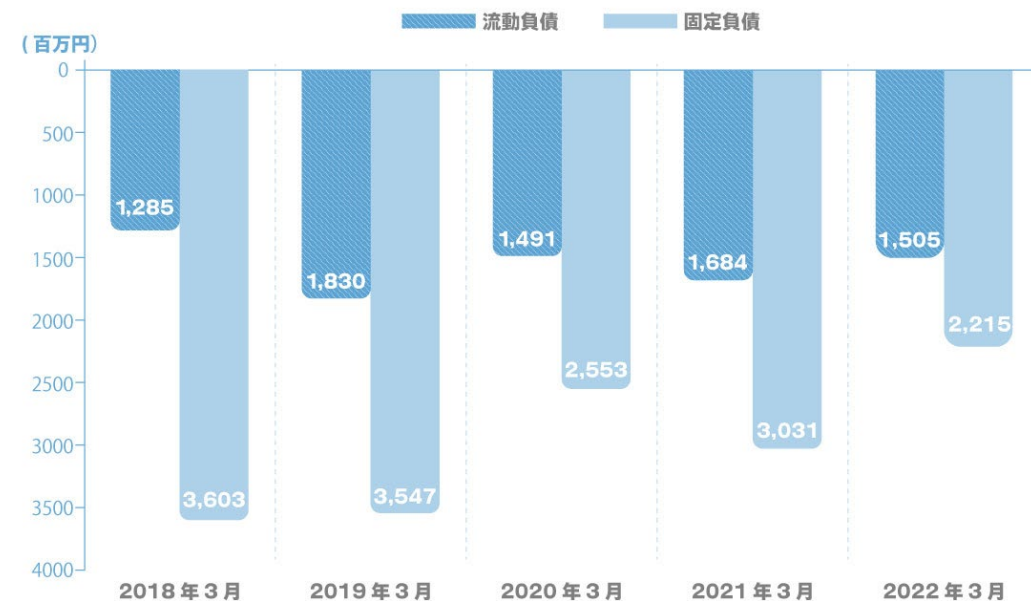


	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月
売上高	7,826	7,558	7,338	7,361	10,449
営業利益率 (%)	4.9	-3.7	-2.3	4.9	14.0

## 連結貸借対照表



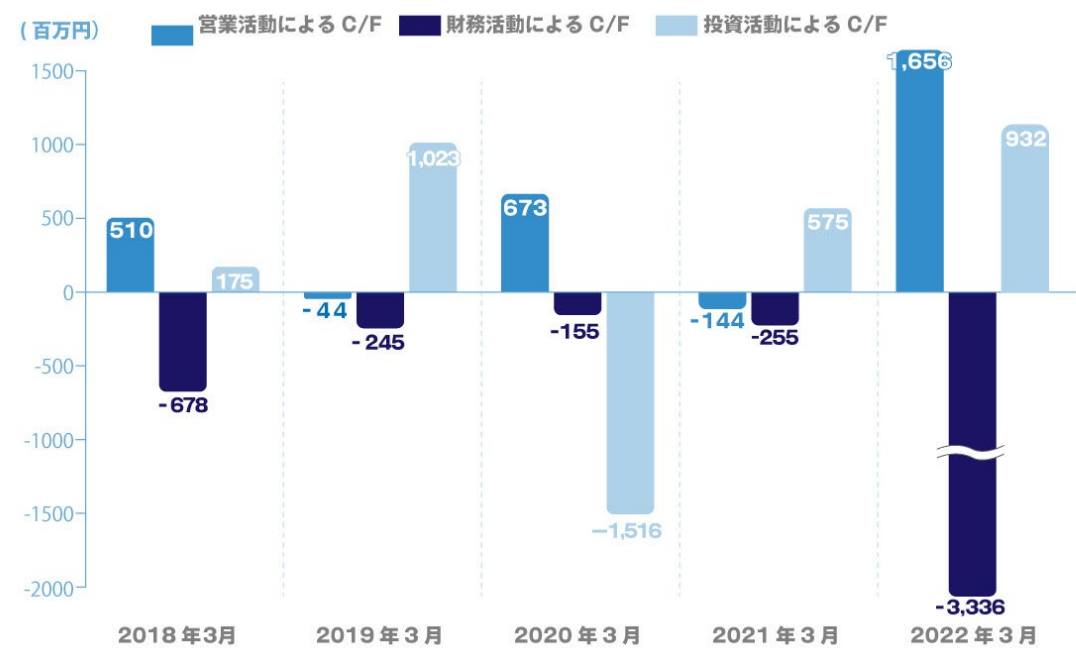
	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月
総資産	12,067	12,568	11,033	11,300	14,606
自己資本	4,856	4,461	4,107	4,372	8,091
自己資本比率 (%)	40	35.5	37.2	38.7	55.4



	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月
流動負債	1,285	1,830	1,491	1,684	1,505
固定負債	3,603	3,547	2,553	3,031	2,215



## キャッシュ・フロー



2018年3月 2019年3月 2020年3月 2021年3月 2022年3月

	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月
営業活動による キャッシュ・フロー	510	-44	673	-114	1656
投資活動による キャッシュ・フロー	-678	-245	-155	-225	-3336
財務活動による キャッシュ・フロー	175	1023	-1516	575	932

## CAPEX / R&D



2018年3月 2019年3月 2020年3月 2021年3月 2022年3月

	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月
設備投資費	769	541	488	248	847
減価償却費	389	408	352	339	329
研究開発費	33	81	55	70	48

## IRお問い合わせ

<https://www.mipox.co.jp/inquiry.html>



フェアディスクロージャーの観点から、公平な情報開示体制と株主様と投資家の皆様へのお問合せ対応の維持を考慮し、IRお問い合わせ窓口のお電話での対応をおこなっておりません。HPのお問い合わせフォームをご利用ください。

